

目次

1. 本システムの提供ファイル	2
2. データベースエンジンの選択	3
3. リッチクライアントプログラムの特徴および注意事項	
(1) クライアント側に専用ソフトは不要	4
(2) フォームはすべて Magic で作成	4
(3) 色・フォントファイルはそのまま、キー割付も有効	4
(4) 印刷は ReportsMagic	5
(5) パッチタスクについて	5
(6) RM 互換(レコードメイン互換)は不可	5
(7) ファントムタスクは不可	5
(8) 遅延トランザクションモードを使用	6
(9) 使用できない関数がある	6
(10) オンラインタスクと動きが違う部分がある	7
(11) オンラインタスクのようなレコードロックの概念はない	7
(12) パフォーマンスに関する注意点	8
4. テクニック集	
(1) PDF 出力の方法	9
(2) ReportsMagic 出力の方法	10
(3) CSV 出力の方法	11
(4) 画面の拡張機能	12
(5) フォーム状態の維持	12
(6) カラムの並び替え	13
(7) カラムのソート	13
(8) カラムのサイズ変更	14
(9) ファイルのダウンロード	14
(10) ファイルのアップロード	15
(11) メール送信	15
(12) グラフ表示	16
5. 顧客情報入力プログラムの概要	18
6. プログラム解説	19
付録1. モデル一覧・テーブル一覧・プログラム一覧	
モデル一覧	22
テーブル一覧	26
プログラム一覧	28
付録2. ReportsMagic ファイル名一覧	31
付録3. モバイルプログラムについて	32

第1章 本システムの提供ファイル

本システムで提供されているファイルを、フォルダーごとに紹介します。

フォルダー名	ファイル名	内 容
C:\¥WitKokyaku40	WitKokyaku40.edp	本システムのプロジェクトファイル
C:\¥WitKokyaku40¥DAT	*.DAT のファイル	Pervasive 用データファイル(最初はサンプルデータが入っています) 顧客データ、接触データ、見積データ、商談データ、契約データなど
C:\¥WitKokyaku40¥ENV	act_wit.jpn clr_wit.jpn fnt_wit.jpn prn_wit.jpn	キーボード割付ファイル 色定義ファイル フォント定義ファイル プリンタ属性ファイル
C:\¥WitKokyaku40¥Exports	(空)	
C:\¥WitKokyaku40¥Images	*.png、*.jpg ファイル	ロゴ等のイメージファイル
C:\¥WitKokyaku40¥RM	*.rfr のファイル RMViewerCtrl.ocx RMCompSec*.dll *.jpg	ReportsMagic 用フォームファイル ReportsMagic 用ビューワー(実行モジュール) " システム内で使用しているロゴイメージファイル
C:\¥WitKokyaku40¥Source Pervasive データ辞書フォルダー SQLServer データ辞書フォルダー	*.xml のファイル Data*.xml のファイル Data*.xml のファイル	プログラム等のソースファイル Pervasive 用のデータソースファイル SQLServer 用のデータソースファイル
C:\¥WitKokyaku40¥TMP DEMO フォルダー	(空) *.TXT のファイル	システムで使用する一時的なフォルダー デモデータの元となるテキストファイル

<その他のファイル>

ドキュメントとして、「インストールガイド／操作ガイド／開発者ガイド(本書)」があります。